

身近でできるエコの実践で地球にやさしい生活を。

地球温暖化とは？

電気製品や自家用車が増え、大量のエネルギーを消費するようになりました。そのエネルギーの大半は、石油や石炭などの化石燃料を燃焼することで得られており、それに伴って、大気中に CO₂ やメタン、フロンなどが排出されています。その大部分は CO₂ で、エネルギーの大量消費は CO₂ 濃度を増し、地球が宇宙に放出するはずの熱を大気中に封じ込め、温室効果を進めるため、これらを「温室効果ガス」とよび、地球温暖化問題を深刻化させています。

世界各地では、この地球温暖化によって、海面水位の上昇による陸域の減少、豪雨や干ばつなど異常現象の増加、生態系への影響や砂漠化の進行、農業生産や水資源への影響など、様々な変化が現れており、このまま地球温暖化が進むと私たちの生活に甚大な被害が及ぼす心配があります。

地球温暖化が深刻な問題となつて、世界中で対策に向けた取り組みが活発化していますが、多久市でも CO₂（二酸化炭素）削減に向けた実践・行動をしています。

市民や事業所のみなさんも家庭や会社などで、エネルギーの節約に心掛け、地球温暖化対策に取り組みましょう。



温室効果ガス6%削減に向けた市役所の取り組み

多久市では、平成18年3月に策定した『多久市地球温暖化対策実行計画』をもとに、市役所が行う事務や事業によるエネルギー使用に伴う温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいます。

平成18年度から平成22年度までの計画期間に、平成16年度（基準年度・CO₂換算総排出量で約6,591トン）比で、約6,195トンまで減らすことを目標にしています。



主な要因は一般廃棄物の焼却や電気・燃料の使用

昨年度の排出量は、約6,521トンで、基準年度比で約1・06%削減することができました。この結果は毎年、本紙やホームページでもお知らせしています。

市の事業で排出する温室効果ガスの約98%の成分は、CO₂です。一般廃棄物の焼却や電気・燃料の使用によるものがその排出の主な要因で、収集ゴミは、ペットボトル、プラスチック製容器包装の分別回収徹底など市民のみなさんの協力で、平成19年度5,110トン焼却した家庭ゴミが、昨年度は4,988トンに減り、年を増す毎に減少しています。

しかし、これらの家庭ゴミの中のビニール、合成樹脂、ゴムなど、本来リサイクル可能なものが含まれる廃プラスチック類の焼却量が前年の1,140ト



できることから実践して行くことが大切

今後も、計画に掲げた柱となる実践項目「電気・燃料などの抑制」、「公用車の適正な利用・管理による環境負荷の低減」、「ゴミの減量化・リサイクル推進」、「用紙類の使用量削減」、「環境に配慮した公共事業の実施」を積極的に進め、室温の適正管理（夏季28℃、冬季20℃）の徹底と衣類の調整を合わせて行うエコスタイル（クールビズ、ウォームビズ）の推進など、日々の積み重ねを続けます。

また、今年度、本庁舎では「みどりのカーテン」を実施しており、ゴーヤや朝顔を育て、暑さ対策や省エネに役立てています。

地球温暖化にストップをかけるには、私たちの生活を見直し、CO₂の排出量を減らすことが必要です。一人ひとりのエコ意識が大事で、毎日の生活を見直し、レジ袋を使わない、エアコンの設定温度を控える、水や電気を節約するなど、身近にできるちょっとした省エネの実行が結集されて、大きな成果を生むことになります。

このような市役所の全組織をあげた取り組みは、モデルとなる役割を担い、市民や事業所のみなさんへの情報提供も行っています。また、市民のみなさんの協力がなくては実現できません。大切なのは、一人ひとりができることから実践していくことです。

みなさんの地球温暖化対策へのご協力をお願いします。

♥ やってみたいエコチャレンジ 例えば・・・

- 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定すると、年間約33kgのCO₂削減、約1,800円の節約。
- テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らすと、年間約14kgのCO₂削減、約800円の節約。
- シャワーを1日1分家族全員が減らすと、年間約69kgのCO₂削減、約7,100円の節約。
- 1日5分間のアイドリングストップを行うと、年間約39kgのCO₂削減、約1,900円の節約。

出所）全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>) より